

(新)地球温暖化対策と大気汚染防止に資するコベネフィット技術等の評価  
 検討費

10百万円(0百万円)

水・大気環境局大気環境課

### 1. 事業の概要

廃棄物や副産物を利用したペレット燃料やバイオ燃料等の新しい種類の原燃料については、地球温暖化対策に資する等の観点から一般家庭での普及が急激に進んでいるところ。

しかしながら、これら燃料を使用する製造メーカーでは、大気環境への影響について把握されておらず、原料に含まれる有害物質や燃焼に伴い発生する大気汚染物質による国民の健康への影響が懸念される。

このため、国民の安心・安全を確保しつつ、地球温暖化対策を推進する観点から、これらの燃料の使用に伴う大気汚染物質排出の実態を把握して評価を行うことにより、今後の対策や技術開発のあり方を検討する。

### 2. 事業計画

調査項目	H 2 1	H 2 2
・調査計画の策定	→	
・燃原料及び使用形態等に関する調査	→	
・検討会の開催		→
・詳細情報の収集		→
・排ガス調査等の実施		→
・評価及び公表		→

### 3. 施策の効果

新しい種類の原燃料の使用による大気汚染への影響を把握することにより、未知数の大気汚染に対する国民の不安を解消するとともに、大気汚染防止にも配慮した地球温暖化対策の導入を促進することができる。

# 地球温暖化対策と大気汚染防止に資する コベネフィット技術等の評価検討費

新しい種類の原燃料

ペレット燃料

バイオ燃料 等



原燃料及び使用形態等の調査



大気汚染への影響を把握・評価

- ・排出ガスの調査
- ・既存燃料との比較 等



- ・未知数の大気汚染に対する国民の不安を解消
- ・大気汚染防止に配慮した地球温暖化対策の導入を促進